

コーナー展示「村絵図を読む」

平成21年12月12日～平成22年2月14日

近世の村では領主や代官ら支配者の必要に応じて、「村絵図」が作成されました。これらの絵図は村境、集落、寺社、田畑、道路、河川、用悪水路、山林原野などが色分けして描かれました。近代の地図に比べると縮尺が不正確で、記号表現が絵画的であり、記載内容に精粗があるなど、一見稚拙な感はありますが、当時の村の景観や描いた人々の地域認識などを理解できる貴重な資料です。

当館収蔵の古文書群のなかには多数の絵図が含まれていますが、今回は、山地、盆地、台地、低地、宿場などの「村絵図」を紹介することに致しました。当時の景観を描いた「村絵図」に現在の姿を重ね合わせて御覧いただき、地域の歴史を見直す手がかりとなれば幸いです。

平成21年12月 埼玉県立文書館

展示資料



〔絵図解説〕

太田部村(現・秩父市太田部)は神流川南岸、上武山地の北側に位置します。深い山中の緩やかな勾配地3か所に集落、畑が分布し、絵図中央右よりの道際に石垣が組まれ、その上に高札場、その側にほかより一段大きく描きかれた名主宅と思われる建物があります。集落ごとに入母屋風の、縁を廻らした建物があり、いずれも明治時代に廃寺となった寺と思われる。村中央部から東北に太田部川が神流川に注ぎ、神流川の1か所の橋は上州(群馬県)と結んでいます。

「村絵図を読む」展示目録			
文書番号	年[西暦]月日	文書名	法量
○会田家 1934	天明元[1781].閏5.	足立郡大門宿麩絵図	40.2×81.5
○浅見家 1480	明治元[1868].11.4	児玉郡上阿久原村麩絵図	27.6×37.6
△新井家 860		村絵図江書載候品々并色分ヶ覚	30.2×17.3
○新井家 3311	天保 4[1833].8.	秩父郡太田部村絵図	60.0×127.7
○井上家 474	[明治 2[1869].2].	入間郡中里村絵図	28.0×40.3
◎井上家 478	明治 2[1869].2.	入間郡峰村絵図	28.0×40.3
◎宇野家 2079	寛文 13[1673].4.	榛沢郡田中村・北根村絵図	128.9×142.2
○加藤家 2200	元禄 11[1698].11.	足立郡羽貫村絵図	58.6×98.3
◎小池氏収集 1206	天明 8[1788].6.	埼玉郡横根村絵図	75.7×115.3
○坂本家 3165		比企郡毛塚村絵図	81.8×116.6
◎篠崎家 4296	寛政 3[1791].9.	埼玉郡上平野村絵図	64.5×94.5
○鈴木(庸)家 1004	天保 11[1840].12.	比企郡白井沼麩絵図	32.2×47.1
◎中島家 285	天保 14[1843].8.	埼玉郡粕壁宿麩絵図	39.4×81.2
○西角井家 5240		武蔵国一宮御神領新開村絵図	47.7×65.1
◎根岸家 3585		比企郡平村絵図	38.5×27.3
○萩原氏収集 226	明治 2[1869].9	児玉郡上稲沢村絵図面	44.4×80.7
◎林家 7023	文化元[1804]	比企郡大塚村絵図	87.4×112.3
○東家 156	天保 7[1836].7	埼玉郡小曾根村絵図	27.5×51.5
◎東家 160	[天保 7[1836].7]	埼玉郡上中条村絵図	28.3×40.9
○堀口家 1697	寛政 11[1799].8	高麗郡梅原村絵図	63.5×92.2
◎森田家 8058		秩父郡大野村絵図	39.5×67.8
◎若谷家 1280		足立郡高畑村絵図	33.0×137.5

※資料の保存のため、前期(12月12日(土)～1月17日(日))、後期(1月19日(火)～2月14日(日))で展示替えいたします。文書番号の○は前期、◎は後期、△は全期間展示です。